

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

1年生の夏休みにオープンキャンパスに参加した際、学校の雰囲気や自分に合っていると感じたため。体験授業での先生のお話なども印象的だったこともあり、志望校に決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

3年生の1学期まで部活動に参加していたので、講習等はありませんでした。その為、学校の授業に遅れないように復習に力を入れていました。宿題で少しづつわからないところがあれば、すぐに先生に質問していました。

〔夏休み〕

夏休み頃からセンター試験の演習をひたすらしていました。センターの勉強が難易度的にも、今までの総復習になっていました。基礎をある程度進めたら、少し難易度の高いものをしていました。

〔2学期～入試直前〕

2科目方式で受験予定の私は英語が課題だったので、英語専用ノートを作っていました。模試や他大学含め、同志社女子大学の過去問で間違えたり知らなかった単語・文法を全てノートにまとめ、1日3回は振り返るようにしていました。

入試がマーク方式でも記述式の問題も解き、先生に添削してもらいました。記述の問題が解けるようになるには、マークの解くスピードも上がり、良い勉強法になっていたと思います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活動を引退するまでは、学校の授業に置いていかれないようにし、今までの復習に取り組みしていました。学校行事等が唯一息抜きできる時間だったので、その間は勉強の事は一旦忘れて思いっきり楽しめました。3年生の春頃からスマホの使用時間を徐々に減らしていき、夏の勉強合宿で完全にスマホ離れをしました。テレビはどうしても見たいものだけ録画し、受験後の楽しみにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

どんな受験でも、過去問や入試本番が一番問題が難しく感じると思います。ひたすら勉強をしていた時間が一番の自信になるので、判定ばかり気にせず勉強あるのみ!!です。